

## ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録<sup>1</sup>

日 時：2019年12月20日（金）10：00～12：30  
場 所：日本銀行本店  
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 委員・リエゾン・事務局  
日本銀行 金融研究所長・情報技術研究センター長ほか

- 2019年12月20日に開催されたISO/TC 68 国内委員会（以下、当委員会）の議事の模様は以下のとおり。

### 1. 開会挨拶

日本銀行金融研究所の関根所長および井上情報技術研究センター長が開会挨拶を行った。

—— 関根所長は、ISO/TC 68 の国際標準化活動は極めて重要かつその重要性が増していることを説明。具体的には、①昨今のビジネスグローバル化に伴い金融サービス分野の国際標準化を取り巻く環境が変化していることや、②海外企業が金融サービス関連を含めて自社に有利な国際標準を確立するよう積極的な働きかけに取り組む一方で、日本企業はさほど積極的ではないために収益機会を逸失している可能性があること、また、③最近の金融業界では、国際標準と国際規制の垣根が低くなりつつあり、規制当局が標準規格を活用することで標準規格が強制規格化され、大きなビジネスインパクトとなるケースが生じていること等を述べた。

—— また、井上センター長は、金融サービス分野における国際標準化を自社に有利なカタチで進めていくためには、まずは関連分野の国際標準化が各社のビジネスに与える影響を自らの問題として評価・分析することが重要であると述べた。その上で、ISO/TC 68 における国際的な議論へのエキスパート参画や、そこでの議論に日本の立場を反映させるための国内作業部会への参画など、当委員会委員による標準化活動に対する一段と積極的な取り組みに期待を寄せた。

---

<sup>1</sup> ISO（the International Organization for Standardization：国際標準化機構）/TC 68（金融サービス分野の専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

## 2. 事務局および国内作業部会委員からの報告、議題

2019年11月13～14日に米国・フォスターシティ（サンフランシスコ近郊）で開催されたISO 20022 RMG 会合での討議内容を踏まえた足許の動向について、Payments SEGs ほか部門毎に橋本事務局長が報告を行い、対応する国内作業部会の各委員から説明が行われた。また、今後のISO 20022 RMG の運営にかかる件について活発な議論が行われた。今後のISO 20022 RMG の方向性に対する検討を深めるために、別途12月26日に当委員会分科会を開催することとした。

このほか、最近のISO/TC 68 の動向についても、国際投票状況を踏まえた具体的な報告をTC 68 傘下のWG 毎に橋本事務局長が報告を行い、対応する国内作業部会の各委員から説明が行われた。

最後に、前回総会（2019年6月）議事録および前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について席上で確認を行った<sup>2</sup>（別添資料1を参照）。

## 3. リエゾン報告

### ① ISO/TC 307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ISO/TC 307 国内審議委員会の楠委員長より、別添資料2に基づき、TC307の最近の動向について報告が行われた。

### ② ISO/IEC JTC1<sup>3</sup>/SC 17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、別添資料3に基づき、SC 17の最近の動向について報告が行われた。

### ③ ISO/IEC JTC1/SC 37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の新崎委員長より、別添資料4に基づき、SC 37の最近の動向について報告が行われた。

---

<sup>2</sup> 国際規格の開発には、以下の6段階のプロセスがある\*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。

\* 必要に応じて、DIS投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7段階のプロセスとなる。

<sup>3</sup> ISOとIEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）との合同技術委員会。

#### 4. 講演／経済産業省

今回、国際標準化活動の重要性の理解深耕のため、経済産業省産業技術環境局国際電気標準課（JISC）の林課長補佐より、別添資料 5 に基づき、国際標準化にかかる世界の動向やその中で日本としての課題や企業として取り組むべき課題についてご講演をいただいた。

#### 5. 当委員会事務局からの連絡

次回の ISO/TC 68 国内委員会の開催時期は、ISO/TC 68 会合（2020 年 5 月 11～15 日、ノルウェー・オスロ）後の 2020 年 6 月頃を予定していることを連絡した。

以 上